

2 指導案例

(1) 単元名 中学校制服パンフレットを製作しよう (本時1/8)

(2) 本時の目標

・衣服の働きや着用について関心をもち、基礎的・基本的な知識を身に付けることができる

(3) 準備・資料 ホワイトボード、ワークシート①、制服 (夏服・冬服)、体操服、下着 (シャツ、靴下)

(4) 指導過程

[支] 支援 ・留意点 ☆評価基準

段階	学習活動	支援・留意点・評価規準
つかむ 10分	<p>1 中学校の制服 (身に付けるもの) を挙げる。</p> <p>[予想される反応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学制服 ・カッターシャツ ・カバン ・体操服 (ジャージ) ・シャツ (下着・靴下) ・靴 (スリッパ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・制服など学校指定のものと、シャツや靴下など学校推奨のものに分けて板書する。 ・制服一式の価格や、手入れは誰がしているかについて自由に発言させ、制服への興味・関心を高める。
広げる 20分	<p>2 1に挙げられたものが必要な理由を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>中学生は、なぜ制服を着るのか考えよう</p> </div> <p>(1)個人で考え、発表する。</p> <p>(2)グループで考え、ホワイトボードに記入し、発表する。</p> <p>[予想される反応]</p> <p>体操服：動きやすいから着替える</p> <p>スリッパ：泥などを教室内に持ち込まない</p> <p>下着：汗をかいたときにシャツが背中に張り付かない</p> <p>(3)分類されたホワイトボードを見て、分類名を考え、発表する。</p> <p>[衣服の働き]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健衛生上の働き ・生活活動上の働き ・社会生活上の働き (職業や所属集団を表す) (社会的慣習を表す) (個性を表す) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意見をホワイトボードに記入して、黒板に整理して貼る。 ・グループで制服が必要な理由を話し合い、ホワイトボードに理由を一つずつ記入させる。 ・ホワイトボードは衣服の働き毎に分類して教師が貼る。 ・中学校では、社会生活上の働きを中心に扱うこととする。 ・制服の社会生活上の働きについては、ここでは「職業や所属集団を表す」という内容だけにとどめておく。 <p>[支]分類名が出ない場合は、ヒントとなる事柄を示し、生徒の声から導き出すようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の働きを提示し、ワークシートに記述させる。
深める 15分	<p>3 中学生にとっての制服についてさらに考える。</p> <p>[予想される反応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きちんとしているように見られるから ・決まりだから 	<ul style="list-style-type: none"> ・親しい人の葬式に参列する場合や入試に行くときなどの例を出しながら、社会的慣習についても触れる。 ・卒業後すぐに社会に出るかもしれない中学生にとって、身だしなみを整える必要性を気付かせたい。
まとめる 5分	<p>4 小学生に「中学生は、なぜ制服を着なくてはならないのか」を尋ねられたら、どのように答えるか、本時の学習を生かして記述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆制服に関心をもち、衣服の働きを理解できる。 (ワークシート) 【知】【関】 ☆社会的慣習について理解し、中学生に制服が必要な理由を説明することができる。 (ワークシート) 【知】

